

第1062号 平成25年3月5日
(毎月5日発行)

発行所 東京都商店街振興組合連合会
東京都中央区銀座2-10-18 (〒104-0061)
電話 03 (3542) 0231~3
FAX 03 (3542) 0236
定価 年間2500円【購読料は会費に含まれる】

商店街ニュース

米・ポートランドに 街づくりを学ぶ

銀座西並木通り会で報告会

中央区の銀座西並木通り会(谷善樹会長)では、銀座街づくり会議との共催で、2月26日に街づくり懇話会「ポートランドから学んだこと」を開催した。今回は、環境との共生や米国一住みやすい街で有名なオレゴン州ポートランドへの、昨年10月の視察報告を兼ねたもの。会場には、商店街会員をはじめ商業振興や都市計画に携わる幅広い関係者約80名が参加した。

冒頭あいさつで谷会長は、「ポートランドは大きな理念の下、街を変えていくエネルギー、組織力、資金力をもって大企業本社や居住者を引きつけている」と紹介。今後の視察報告を今後の20年スパンの街づくりを考える契機にしたいとした。

視察報告では、谷實司郎事務局長、岩月一之、堀田峰明会員、銀座街づくり会議の竹沢えり子氏が登壇。ハード面ではLRTや路上フアニチャ、空き店舗へのクリエイター誘致、ソフト面ではフアーマーズマーケットや地元産品の優先購入志向に見られる市民の強い郷土愛と自治精神、さらにかこうした街を動かす仕組みとして、半官半民の街づくり組織やBID認定を受けた民間経済組織による取り組みを紹介した。

今後の商店街活動への提言としては、街づくりプロフェッショナルの雇用や独自財源確保、ビルオーナーとの連携強化、「銀ブラ」機能の強化などが挙げられた。最後に商業コンサルタントの松本大地氏が総括し、ウォークアブルなダウンタウン、ポートランドで学んだことを銀座の街づくりに生かしてほしいと結んだ。